

# キャリアパス委員会の活動

2013年、キャリアパス委員会が始動しました。

これまでの男女共同参画委員会、若手教育問題WGの活動を引継ぎ、それぞれの問題をより広い視点から捉えて、男女ともに共同して働きやすい・生活しやすい社会を推進するため、取り組んでいきます。

## キャリアパス委員会のミッション

生命科学領域の中で「分子生物学」は比較的新しい分野ですが、その発展は目覚ましく、社会にも非常に貢献しています。一方、分子生物学会に属する若手研究者がおかれる状況は男女ともに、今なお、決して満足のものではないことも周知の事実です。

第18期から新しく始まった「キャリアパス委員会」では、若手研究者を取り巻く数多くの問題を、男女共に提起・分析し、軽減そして解消することを目指します。

## 若手教育活動とより働きやすい環境を目指して

- 2013 男女共同参画委員会は若手教育問題WGと共に、活動をキャリアパス委員会へ引継ぐ
- 2009 年会における演題投稿者の女性比率調査開始（以降毎回実施）
- 2008 報告:分子生物学会会員による回答結果の分析  
「バイオ系専門職における男女共同参画実態の大規模調査分析」
- 2007 要望「日本学術振興会・特別研究員-RPD制度の更なる拡充、推移と、および弾力的運用等に関する要望」：  
日本学術振興会へ RPD制度の拡大と改善を目指して  
若手教育問題WG発足  
第1回若手教育シンポジウムを開催（以降毎回開催）
- 2006 男女共同参画WG→委員会へ昇格  
RPD制度に関するwebアンケート
- 2005 提言「ライフサイエンス分野における男女共同参画の推進」・  
「科学者・技術者の人材のさらなる活用を図る男女共同参画制度の整備について」：  
内閣府、文部科学省、総合科学技術会議事務局へ  
  
報告「科学者-技術者の人材のさらなる活用を図る男女共同参画制度の整備について-理工学系の現状に基づく提言-」：  
日本学術会議へ 特別研究員RPD制度の設置を目指して
- 2004 WEB公聴会「科学技術基本計画」および「男女共同参画基本計画」改訂作業への意見集約  
提言「子育て支援型研究員制度」
- 2002 男女共同参画WG発足  
年会における第1回男女共同参画WSを開催（以降毎回開催）
- 2001 年会保育室設置WGスタート  
年会保育室設置（以降毎回設置）

## キャリアパス委員

塩見美喜子（委員長）、石井 優、井関 祥子、岩崎 涉、小野 弥子、五島 剛太、小林 武彦、斎藤 通紀、佐藤 健、白髭 克彦、東山 哲也、柳田 素子

## 2013年の委員会活動

- 年会での主催企画：ランチョンセミナー2013
  - ・キャリアパスの多様性と可能性（12月3日）
  - ・21世紀のアカデミア、君たちは何を指す？（12月4日）
 神戸国際会議場3F 国際会議室  
キャリアパス委員による対談（会報掲載）  
年会の演題投稿者における属性調査  
日本学術振興会・特別研究員-RPD制度採用者の追跡調査  
年会託児室利用者へのアンケート実施  
大規模アンケート回答結果の解析  
男女共同参画学協会連絡会に参画

## 中高生への教育活動について

キャリアパス委員会では、中高生への教育活動の取り組みとして、男女共同参画委員会の活動を引継ぎ、「女子中高生夏の学校～科学・技術者のたまごたちへ～」(主催:国立女性教育会館/科学技術振興機構「女子中高生の理系進路選択支援プログラム」採択)で今年も実験・実習、ポスターセッションを行いました。分子生物学会では、このプログラムが始まった2005年より毎年協力を続けています。



### これまでの実験・実習テーマ

- ☆オリジナルDNAストラップを作ろう-遺伝暗号のしくみを学ぶ-
- ☆コンピュータで探るバイオ分子の世界
- ☆線虫を使って知る遺伝子のしくみ
- ☆生物（なまもの）を使わない生物 生物の進化
- ☆イネのDNAに刻まれた「お米」のふるさとを読み解こう
- ☆卵の秘密
- ☆生命の不思議を科学する

### これまでのポスターセッションテーマ

- ☆最先端の「生き物」研究で活躍している道具たち
- ☆匂いが脳に伝わる仕組み～魚の好きな匂いと嫌いな匂い
- ☆食糧問題解決を目指して！DNA研究の挑戦
- ☆なぜ、葉は緑で、トマトは赤いのか？解析
- ☆今、動く遺伝子が面白い！
- ☆ES細胞/iPS細胞を使った夢の再生医学
- ☆植物の可能性を探ろう
- ☆発生と再生の接点～ES細胞を使った夢の再生医学～
- ☆アサガオの色模様とトランスポゾン
- ☆生命現象を支えるRNA
- ☆伝統食ってすごい！～鰹だしの知られざるパワー～
- ☆環境に適応した植物の運動
- ☆どうやったら再生臓器が出来るの？

来年の夏学をお手伝いしてくださる方達を募集します。学生さんも大歓迎です。詳しくは会報2月号で！